

第一回改定:2003年1月15日

実施期間:2002年7月~2007年6月

作成時期:2002年4月10日

プロジェクト名:エクアドル職業訓練改善プロジェクト

実施機関:職業能力開発機構(SECAP)

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p>(上位目標) 産業界が必要とする職業能力を有する労働者を供給できる職業訓練体制が確立され、エクアドルにおける雇用状況の改善がもたらされる。</p> <p>(プロジェクト目標) 産業界の訓練ニーズに合致した職業能力(電気、電子、機械加工、溶接、金属加工)を有する技術者を大量に輩出できるように、CERFINを拠点としながら、SECAP及びその主要職業訓練センターの運営管理体制が改善される。</p>	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> SECAPの職業訓練に対する企業の満足度が上昇する。 対象工業分野の就業率が上昇する。 SECAPの技術職員に対する事務職員の比率が減少する。 SECAPの管理費に対する訓練費の比率が増加する。 4 センターにおける新規・見直し訓練コース数が増加する。 4 センターの対象分野の訓練コースにおける企業及び訓練生の参加数が増加する。 	<p>指標の入手手段</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業意向調査 雇用統計 SECAPの年次報告書 各訓練センターの年次報告書 産業界の訓練ニーズのモニタリング結果 	<p>外部条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気・電子及び機械加工・金属加工分野の技能労働者の企業ニーズが継続的に存在する。
<p>(成果)</p> <p>第1ステージ</p> <ol style="list-style-type: none"> 産業界との関係強化を通じて、対象分野に関する産業界(主要都市)の訓練ニーズが分析されるとともに、地方の主要職業訓練センターの現状が診断される。 上記1.の分析に基づき、向上訓練コースが見直し・開発され実証的に実施される。 上記1.の分析に基づき、CERFINにおけるテクノ・テクノロジー上級訓練コースの実施計画が策定される。 上記1.の診断に基づき、指導員に対する再訓練コースの実施計画が策定される。 	<p>第1ステージ</p> <ol style="list-style-type: none"> 分析及び診断結果に基づく改善計画の内容と数 見直し・開発された向上訓練コースのカリキュラム数と参加者数 テクノ・テクノロジー上級訓練コース実施計画策定状況 指導員再訓練コース実施計画策定状況 	<p>第1ステージ</p> <ol style="list-style-type: none"> 訓練ニーズ調査報告書及び訓練センターの現状分析結果 CERFINの向上訓練コースに関する改善カリキュラム及び第1ステージの訓練実績 CERFINの上級訓練コース実施計画書 指導員再訓練コース実施計画書 	<p>外部条件</p> <ul style="list-style-type: none"> エクアドル政府の職業訓練政策に変更がない。特に、SECAPが公的機関として存続すること、組織改革によるSECAPの訓練指導員の配置計画や予算配分計画に大幅な変更がないこと。 機材の通関・輸送手続きが遅延することなく実施される。

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p>第2ステージ</p> <p>5. 第1ステージの訓練ニーズを定期的にモニタリングし、訓練計画に反映させる体制ができる。</p> <p>6. CERFIN において、在職者用の向上訓練の体系が完成するとともに、企業における在職者の労働状況のモニターが実施される。</p> <p>7. CERFIN において、テクノロジー・テクノロジー上級訓練コースが実施され、訓練生の就職支援制度が整備される。</p> <p>8. CERFIN において地方の主要な職業訓練センターの指導員を対象とした再訓練が実施される。</p> <p>9. CERFIN で開発されたコースカリキュラムや教材が、他の訓練センターへも普及する。</p>	<p>第2ステージ</p> <p>5. 訓練ニーズの定期モニタリング体制整備状況</p> <p>6. 拡大された向上訓練コースの参加者数及び訓練ニーズモニタリング実績</p> <p>7. テクニコ・テクノロジー上級訓練コースの実施報告書及び就職支援制度による就職者数</p> <p>8. CERFIN における指導員再訓練コースの実施報告書</p> <p>9. 各訓練センターにおける新規・見直しコースカリキュラム及び教材の普及整備状況</p>	<p>第2ステージ</p> <p>5. 定期モニタリング体制の解説書</p> <p>6. CERFIN の向上訓練コース実施報告書及びモニタリング結果報告書</p> <p>7. 上級訓練コース実施報告書及び就職支援制度による就職実績</p> <p>8. CERFIN の指導員再訓練コース実施報告書</p> <p>9. 各訓練センターのコースカリキュラム表及び教材一覧表</p>	
<p>(活動)</p> <p>第1ステージ</p> <p>1.1 産業界の訓練ニーズ分析に必要な体制整備及び調査実施 (SECAP、CERFIN)</p> <p>1.2 4 センターにおける訓練体系、訓練内容、指導員の能力等に関するレビュー (SECAP、4 訓練センター)</p> <p>2.1 CERFIN における向上訓練コースの中期 (5 年間) 計画の作成</p> <p>2.2 CERFIN における向上訓練コース (新規・見直し) の実施</p> <p>3.1 CERFIN における第2ステージ (3 年間) に実施予定の上級訓練コースの計画の作成</p> <p>4.1 地方の主要職業訓練センターの指導員に対する再訓練計画の作成と CERFIN における実施体制の整備 (SECAP、CERFIN)</p>	<p>(投入)</p> <p>日本側</p> <p>●人材</p> <p>長期専門家 (4 名)</p> <p>短期専門家 (5 名/年)</p> <p>第三国専門家</p> <p>C/P 本邦研修 (3 名/年)</p> <p>●機材供与</p> <p>電気・電子分野の制御用機器、機械・金属分野の検査試験装置及び工具他 (単位: 千円)</p>	<p>エグアドル側</p> <p>●人材</p> <p>C/P の配置</p> <p>日本人専門家用執務室及び訓練サイトの提供</p> <p>●機材供与</p> <p>プロジェクト実施経費に関する予算措置 (単位: 米ドル)</p>	<p>(前提条件)</p>

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p>第2ステージ</p> <p>5.1 産業界の訓練ニーズ(サンプリング調査)の追跡調査 (SECAP、CERFIN)</p> <p>6.1 CERFIN における向上訓練コースの拡大実施</p> <p>7.1 CERFIN におけるテクノ・テクノロジー上級訓練コース(新規・見直し)の実施</p> <p>7.2 CERFIN における就職支援制度の導入</p> <p>8.1 CERFIN における指導員再訓練コースの実施</p> <p>9.1 CERFIN で開発されたコースカリキュラムや教材の他の訓練センターへの普及 (SECAP、4 訓練センター)</p>	<p>第2ステージの日本側投入については、その実施が確定された時点(第1ステージ終了6ヶ月前)で決定する。</p> <p>注:2003 年度は計画。</p>		

実施期間：2002年7月～2007年6月
改訂時期：2004年2月3日

プロジェクト名：エクアドル職業訓練改善計画
実施機関：職業能力開発機構 (SECAP)

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p>(上位目標)</p> <p>産業界が必要とする職業能力を有する労働者を供給できる職業訓練体制が確立され、エクアドルにおける雇用状況の改善がもたらされる。</p> <p>(プロジェクト目標)</p> <p>産業界の訓練ニーズに合致した職業能力(電気、電子、機械加工、溶接、金属加工)を有する技術者を大量に輩出できるよう、CERFINを拠点としながら、SECAP及びその主要職業訓練センターの運営管理体制が改善される。</p>	<p>・SECAPの職業訓練に対する企業の満足度が上昇する。</p> <p>・対象工業分野の就業率が上昇する。</p> <p>・SECAPの技術職員に対する事務職員の比率が減少する。</p> <p>・SECAPの管理費に対する訓練費の比率が増加する。</p> <p>・4 センターにおける新規・見直し訓練コース数が増加する。</p> <p>・4 センターの対象分野の訓練コースにおける企業及び訓練生の参加数が増加する。</p>	<p>・企業意向調査</p> <p>・雇用統計</p> <p>・SECAPの年次報告書</p> <p>・各訓練センターの年次報告書</p> <p>・産業界の訓練ニーズのモニタリング結果</p>	<p>・電気・電子及び機械加工・金属加工分野の技能労働者の企業ニーズが継続的に存在する。</p>
<p>(成果) 第1ステージ</p> <p>1. 産業界との関係強化を通じて、対象分野に関する産業界(主要都市)の訓練ニーズが分析されるとともに、地方の主要職業訓練センターの現状が診断される。</p> <p>2. 上記1.の分析に基づき、向上訓練コースが見直し・開発され実証的に実施される。</p> <p>3. 上記1.の分析に基づき、CERFINにおけるテクノ・テクノ・テクノ向上訓練コースの実施計画が策定される。</p> <p>4. 上記1.の診断に基づき、指導員に対する再訓練コースの実施計画が策定される。</p>	<p>第1ステージ</p> <p>1. 分析及び診断結果に基づく改善計画の内容と数</p> <p>2-1. 向上訓練コースが各分野年間10コース以上見直し・開発され、各分野年間150名以上の訓練生が参加する。</p> <p>2-2. 訓練内容に対する評価</p> <p>3. テクニコ・テクノノゴ上級訓練コース実施計画策定状況</p> <p>4. 指導員再訓練コース実施計画策定状況</p>	<p>第1ステージ</p> <p>1. 訓練ニーズ調査報告書及び訓練センターの現状分析結果</p> <p>2-1. CERFINの向上訓練コースに関する改善カリキュラム及び第1ステージの訓練実績</p> <p>2-2. 訓練生、所属先上司等に対するアンケート調査</p> <p>3. CERFINの上級訓練コース実施計画書</p> <p>4. 指導員再訓練コース実施計画書</p>	<p>・エクアドル政府の職業訓練政策に変更がない。特に、SECAPが公的機関として存続すること、組織改革によるSECAPの訓練指導員の配置計画や予算配分計画に大幅な変更がないこと。</p> <p>・機材の通関・輸送手続きが遅延することなく実施される。</p>

プロジェクトの要約	指 標	指標の入手手段	外部条件
<p>第2ステージ</p> <p>5. 第1ステージの訓練ニーズを定期的にモニタリングし、訓練計画に反映させる体制ができる。</p> <p>6. CERFIN において、在職者の向上訓練の体系が完成するとともに、企業における在職者の労働状況のモニターが実施される。</p> <p>7. CERFIN において、テクニコ・テクノロジ上級訓練コースが実施され、訓練生の就職支援制度が整備される。</p>	<p>第2ステージ</p> <p>5. 訓練ニーズの定期モニタリング体制整備状況</p> <p>6. 拡大された向上訓練コースの参加者数及び訓練ニーズモニタリング実績</p> <p>7-1 テクニコ・テクノロジ上級訓練コースが各分野年間6コース以上実施され、各分野年間72名以上の訓練生が参加する。</p> <p>7-2 就職支援制度による就職者数</p> <p>7-3. 訓練内容に対する評価</p>	<p>第2ステージ</p> <p>5. 定期モニタリング体制の解説書</p> <p>6. CERFIN の向上訓練コース実施報告書及びモニタリング結果報告書</p> <p>7-1. 上級訓練コース実施報告書</p>	
<p>8. CERFIN において、地方の主要な職業訓練センターの指導員を対象とした再訓練が実施される。</p>	<p>8-1. CERFIN における指導員再訓練コースの参加者数が各分野6名以上</p> <p>8-2 訓練内容に対する評価</p>	<p>7-2. 就職支援制度による就職実績</p> <p>7-3. 訓練生、所属先上司等に対するアンケート調査</p> <p>8-1. CERFIN の指導員再訓練コース実施報告書</p> <p>8-2. 訓練生に対するアンケート調査</p>	
<p>9. CERFIN で開発されたコースカリキュラムや教材が、他の訓練センターへも普及する。</p>	<p>9. 各訓練センターにおける新規・見直しコースカリキュラム及び教材の普及整備状況</p>	<p>9. 各訓練センターのコースカリキュラム表及び教材一覧表</p>	

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
<p>(活動)</p> <p>第1ステージ</p> <p>1.1 産業界の訓練ニーズ分析に必要な体制整備及び調査実施 (SECAP、CERFIN)</p> <p>1.2 4 センターにおける訓練体系、訓練内容、指導員の能力などに関するレビュー (SECAP、4 訓練センター)</p> <p>2.1 CERFIN における向上訓練コースの中期 (5 年間) 計画の作成</p> <p>2.2 CERFIN における向上訓練コース (新規・見直し) の実施</p> <p>3.1 CERFIN における第2ステージ (3 年間) に実施予定の上級訓練コースの計画の作成</p> <p>4.1 地方の主要職業訓練センターの指導員に対する再訓練計画の作成と CERFIN における実施体制の整備 (SECAP、CERFIN)</p>	<p>(投入)</p> <p>日本側</p> <p>●人材</p> <p>長期専門家 (4 名)</p> <p>短期専門家 (5 名/年)</p> <p>第三国専門家</p> <p>C/P 本邦研修 (3 名/年)</p> <p>●機材供与</p> <p>電気・電子分野の制御用機器、機械・金 (単位:米ドル)</p> <p>属分野の検査試験装置及び工具他 (単位:千円)</p>	<p>エクアドル側</p> <p>●人材</p> <p>C/P の配置</p> <p>日本人専門家用執務室及び訓練サイトの提供</p> <p>●機材供与</p> <p>プロジェクト実施経費に関する予算措置</p>	<p>(前提条件)</p>
<p>第2ステージ</p> <p>5.1 産業界の訓練ニーズ (サンプリング調査) の追跡調査 (SECAP、CERFIN)</p> <p>6.1 CERFIN における向上訓練コースの拡大実施</p> <p>7.1 CERFIN におけるテクニク・テクノ/ログ上級訓練コース (新規・見直し) の実施</p> <p>7.2 CERFIN における就職支援制度の導入</p> <p>8.1 CERFIN における指導員再訓練コースの実施</p> <p>9.1 CERFIN で開発されたコースカリキュラムや教材の他の訓練センターへの普及 (SECAP、4 訓練センター)</p>	<p>第2ステージの日本側投入については、その実施が確定された時点 (第1ステージ終了6ヶ月前) で決定する。</p> <p>注: 2003 年度は計画。</p>		

6. プロジェクト評価グリッド調査結果

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果												
達成度	<p>(1) 上位目標 産業界が必要とする職業能力を有する労働者を供給できる職業訓練体制が確立され、エクアドルにおける雇用状況の改善がもたらされる。</p> <p>(2) プロジェクト目標 産業界の訓練ニーズに合致した職業能力（電気、電子、機械加工、溶接、金属加工）を有する技術者を大量に輩出できよう、CERFIN を拠点としながら、SECAP 及びその主要職業訓練センターの運営管理体制が改善される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SECAP の職業訓練に対する企業の満足度が上昇する。 対象工業分野の就業率が上昇する。 SECAP の技術職員に対する事務職員の比率が減少する。 SECAP の管理費に対する訓練費の比率が増加する。 4 センターにおける新規・見直し訓練コース数が増加する。 	<p>現時点で上位目標に対する実質的な結果は見られないが、今後、SECAP が供給する訓練コースへの参加者は着実に増加して、本プロジェクトの上位目標の達成に少しずつ貢献していくものと考えられる。</p> <p>SECAP 全体における技術職員に対する事務職員の比率は、2001 年が 39%、2002 年が 38%、2003 年が同じく 38% で、わずかに減少傾向にある。</p> <p>SECAP の管理費に対する訓練費の比率は、2001 年が 46%、2002 年が 51%、2003 年が 48% で、2001 年から 2002 年にかけて増加したが、2002 年から 2003 年にかけては減少した。</p> <p>見直し、あるいは新規に開発された 4 センター（第 1 ステージでは CERFIN のみ）における向上訓練コースの増加数は以下のとおりで、電気・電子科は第 2 年次が半年分であることを考慮すればプラスとなり、機械・金属科はそのような考慮をなくともプラスとなっている。</p>												
<table border="1" data-bbox="895 159 1141 1043"> <thead> <tr> <th></th> <th>2002 年 7 月～ 2003 年 6 月</th> <th>2003 年 7 月～ 2003 年 12 月</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気・電子科</td> <td>22</td> <td>13 (26)</td> <td>- (+4)</td> </tr> <tr> <td>機械・金属科</td> <td>11</td> <td>13 (26)</td> <td>+2 (+15)</td> </tr> </tbody> </table>				2002 年 7 月～ 2003 年 6 月	2003 年 7 月～ 2003 年 12 月	増減	電気・電子科	22	13 (26)	- (+4)	機械・金属科	11	13 (26)	+2 (+15)	<p>注) () 内は、既存データが第 2 年次は半年分しかないもので、通年では単純に 2 倍になると想定した数値。</p>
	2002 年 7 月～ 2003 年 6 月	2003 年 7 月～ 2003 年 12 月	増減												
電気・電子科	22	13 (26)	- (+4)												
機械・金属科	11	13 (26)	+2 (+15)												
<ul style="list-style-type: none"> 4 センターにおける対象分野の訓練コースで、企業及び訓練生の参加数が増加する。 			<p>見直し、あるいは新規に開発された 4 センター（第 1 ステージでは CERFIN のみ）における向上訓練への参加者数及び参加企業増数の増減は以下のとおりで、電気・電子科では第 2 年次が半年分であることを考慮すれば参加者数はプラスになるものの、その他ではマイナスになる。機械・金属科では全てプラスとなっている。</p>												

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果			
			2002年7月～ 2003年6月	2003年7月～ 2003年12月	増減	
			電気・電子科 280人	181人 (362人)	-	
			184社	76社 (152社)	-	
			機械・金属科 133人	215人 (430人)	+82 (+297)	
			108社	121社 (242社)	+13 (+134)	
			注) () 内は、既存データが第2年次は半年分しかないので、通年で詳細に2倍になると想定した数値。			
			以下のような9種類の報告書・提案書が準備された。			
			① 訓練ニーズ調査提案書、② 第1回ニーズ調査報告書、③ 第2回ニーズ調査報告書、④ 北部地域工業訓練センター (CERFIN) 施設・機材調査報告書、⑤ クエンカ工業訓練センター (CEPIC) 施設・機材調査報告書、⑥ アンバト工業訓練センター (CEPIA) 施設・機材調査報告書、⑦ 臨海地域工業訓練センター (CERFIL) 施設・機材調査報告書、⑧ ペルー・エクアドル技術交換報告書、⑨ パラグアイ・エクアドル技術交換報告書。			
			これらの報告書には20の具体的な提案(活動)が示され、その内容は、訓練ニーズ、広報活動、訓練コース、指導員、訓練予算、施設・機材整備等に分類できる。			
			見直し、あるいは新規に開発された向上訓練コース数は以下のとおりである。			
			(訓練コース数)	2002年7月～ 2003年6月	2003年7月～ 2003年12月	合計
			電気・電子科	22	13	35
			機械・金属科	11	13	24
			一方、見直し、あるいは新規に開発された向上訓練への参加者数は以下のとおりである。			
			1. 分析及び診断結果に基づく改善計画の内容と数			
			(3) 成果(第1ステージ) 成果1: 産業界との関係強化を通じて、対象分野に関する産業界(主要都市)の訓練ニーズが分析されるとともに、地方の主要職業訓練センターの現状が診断される。			
			2-1. 向上訓練コースが各分野年間10コース以上見直し・開発され、各分野年間150名以上の訓練生が参加する。			
			成果2: 上記1の分析に基づき、向上訓練コースが見直し・開発され、実証的に実施される。			

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果												
		2-2. 訓練内容に対する評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(参加者数)</th> <th>2002年7月～ 2003年6月</th> <th>2003年7月～ 2003年12月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気・電子科</td> <td>280</td> <td>181</td> <td>461</td> </tr> <tr> <td>機械・金属科</td> <td>133</td> <td>215</td> <td>348</td> </tr> </tbody> </table> <p>2004年に実施された訓練受講生へのアンケート調査によれば、44人中38人(86%)が「訓練が役に立った」と答えている。また、同様に44人中38人(86%)が「今後も(別のコースを)受講しますか」という質問に「はい」と回答している。一方、同時に行われた派遣先上司・企業へのアンケート調査によれば、22社中21社(95%)が「今後、従業員への向上訓練の参加を勧めたいと思いませんか」の問いに「はい」と答えている。</p> <p>テクノ・テクノ・テクノ上級訓練コースの実施計画は策定済である。</p> <p>指導員に対する再訓練コースの実施計画は策定済である。</p>	(参加者数)	2002年7月～ 2003年6月	2003年7月～ 2003年12月	合計	電気・電子科	280	181	461	機械・金属科	133	215	348
(参加者数)	2002年7月～ 2003年6月	2003年7月～ 2003年12月	合計												
電気・電子科	280	181	461												
機械・金属科	133	215	348												
	<p>成果3：上記1の分析に基づき、CERFINにおけるテクノ・テクノ・テクノ上級訓練コースの実施計画が策定される。</p> <p>成果4：上記1の診断に基づき、指導員に対する再訓練コースの実施計画が策定される。</p>	<p>3. テクノ・テクノ・テクノ上級訓練コース実施計画策定状況</p> <p>4. 指導員再訓練コース実施計画策定状況</p>													

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
達成度	(4) インプット (日本側)	<p>1) 専門家の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期派遣専門家 ・短期派遣専門家 ・第三国派遣専門家 <p>2) 機材の供与</p> <p>3) ローカルコストの負担</p> <p>4) 日本での研修</p>	<p>長期派遣専門家：4名(チーフアドバイザー、業務調整員、機械・金属、電気・電子)</p> <p>短期派遣専門家：7名(職業訓練教材作成技法2、CAD製図技術、配管溶接・構造物鉄工、自動化システム技術、冷凍空調、配電設備)</p> <p>第三国派遣専門家：3名(電子機器開発2、ラジオ・テレビ修理技術)</p> <p>供与した機材の金額は、2002年度で1億580万円、2003年度で270万円であった。</p> <p>プロジェクトに必要な現地運営コストとして、2002年度で440万円、2003年度で890万円を負担した。</p> <p>3名の指導員および1名の管理職が日本で研修を受けた他、現在、2名の指導員が日本で研修中である。</p>

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
	(エクアドル側)	1) C/P の配置 2) 建物、施設等の提供 3) ローカルコストの負担	技術移転の対象となる2分野において、C/Pとして18名の指導員（電気・電子7名、機械・金属11名、各科学長を含む。）が配置された。 R/Dに従って、日本人専門家の勤務スペース、機材等の設置場所がエクアドル側から提供された。 エクアドル側は2002年で279,869米ドル、2003年で371,797米ドル（未確定値）のローカルコストを負担した。

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
活動のプロセス	活動の進捗状況	活動の進捗	(活動リスト参照)
	モニタリングの実施状況	モニタリングの仕組みの確認 PDMや作業計画等の修正	合同調整委員会（JCC）、プロジェクト運営委員会及び実施委員会が十分に機能している。 当初PDMは2004年4月に署名された。本中間評価調査では、指標及び指標の入手段が一部修正され、それをPDM1と定義した。 外部条件の変化は見られない。
	専門家とC/Pとの関係	外部条件の変化 コミュニケーションの状況	C/Pと日本人専門家は良好な関係を築いている。
	受講者・派遣先企業等からのフィードバック	問題意識の共有、共同作業等の実施 C/Pのオーナーシップ	各活動は、C/Pと日本人専門家が互いに協力して実施されている。 C/Pのオーナーシップの意識は高い。
	SECAPのオーナーシップ	管理者の参加 予算の配分	SECAP/CERFINは企業、業界団体、商工会議所等と良好な関係を築こうとして、ニーズ調査、企業訪問等を実施している。 SECAP経営陣は積極的にプロジェクトに関与している。
		C/Pの配置	SECAPの予算は、①エクアドル社会保険庁（IEES）を通して分配される訓練資金（訓練税）、②受講生から徴収する訓練費、③国家予算の配賦によって構成されている。SECAP本部は、各センターから積み上げられた予算要求額を踏まえつつ、その予算を分配している。 C/Pは適切に配置されている。

活動リスト

活動計画 (第1ステージ)		調査結果
1.1	産業界の訓練ニーズ分析に必要な体制整備及び調査実施 (SECAP、CERFIN)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練ニーズ調査委員会を CERFIN 及び SECAP 本部に設置した。 ・訓練ニーズ調査を2回実施した。
1.2	4 センターにおける訓練体系、訓練内容、指導員の能力等に関するレビュー (SECAP、4 訓練センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の主要職業訓練センターの現状調査を実施した。第1ステージの残りの期間内に第2回の調査活動を行う予定である。
2.1	CERFIN における向上訓練コースの中期 (5年間) 計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・向上訓練の中期計画書を策定した。
2.2	CERFIN における向上訓練コース (新規・見直し) の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・機械・金属分野 24 コース、電気・電子分野 35 コースをそれぞれ実施した。
3.1	CERFIN における第2ステージ (3年間) に実施予定の上級訓練コースの計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・上級訓練コースの計画書を策定した。
4.1	地方の主要職業訓練センターの指導員に対する再訓練計画の作成と CERFIN における実施体制の整備 (SECAP、CERFIN)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員再訓練計画書を策定した。 ・CERFIN 内に教務委員会を設置した。また、第1ステージ内に教務課を強化する予定である。

5 項目評価

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
妥当性	上位目標とエクアドル側の開発政策との妥当性	国家開発政策との整合性	エクアドル政府は、政府開発計画 (Plan de Gobierno 2000-2003) において、職業訓練や人材育成を優先課題に掲げており、また、「人間開発のための社会政策 (2003 年)」では、労働人的資源省が SECAP を通じて、生産部門や公的部門のニーズに合致した職業訓練を実施することが謳われている。
	日本の援助事業としての妥当性	当該セクターのニーズ 対エクアドル ODA 政策との整合性	企業、産業界等における当該セクター (職業訓練・人的資源開発等) のニーズは高い。 エクアドルに対する日本の政府開発援助は、職業訓練や人材育成を通じた貧困削減を重点項目の一つに置いている。
	プロジェクト目標とエクアドル側のニーズとの妥当性	職業訓練や人的資源開発の分野におけるエクアドル側の戦略との整合性	プロジェクトは、エクアドルの労働人的資源省や SECAP の戦略/ニーズに合致している。
有効性	成果の達成度	成果の指標の達成状況	第1ステージの4つの成果の有効性は十分高いことが確認された。また、プロジェクト目標の達成に、それぞれの成果の達成がきちんと寄与している。 日本人専門家からの技術移転は、一部機材における通関手続き上の問題あるいは仕様の不一致によって、据え付けが多少遅れたケースがあり、技術移転スケジュールが一部変更されたが、おおむね順調に実施された。 向上訓練受講生、受講生の所属先上司/雇用主へのアンケート調査の結果によれば、向上訓練は十分満足のいくものであり、総じて訓練カリキュラムは企業のニーズに合致した

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
	プロジェクト目標の達成度	プロジェクト目標の指標の達成状況	<p>ものであることが確認されている。</p> <p>目標は十分に達成されている。SECAP 経営陣は機構改革を進めていて、技術職員に対する事務系職員の比率は、わずかではあるものの減少傾向にある。また、事務経費に対する訓練費の比率も、特に2001～2002年では増加に転じている。2004年2月には新たに6名（電気・電子分野・5名、機械・金属分野 1名）の指導員が配属される予定である。新規及び見直された訓練コース数は増加しており、併せて訓練受講生及び参加企業も増加している。いくつかのコースは企業の要望に合わせてオーダーメイド型になっている。</p>
	貢献・阻害要因		<p>プロジェクト開始以来、SECAP 及び CERFIN の幹部クラスに異動がないため、エクアドル側と日本側の協力関係は非常に緊密なものとなっている。</p>
効率性	投入の質、量、タイミミングの適性度	エクアドル側及び日本側の投入	<p>第1ステージにおける日本側の人的な投入は、ほぼ適切な時期に妥当な人数で実施されており、派遣専門家は適正な能力を有している。一方、エクアドル側の投入であるC/Pの人数は、R/Dに明記された人数よりも多く配置されていたものの、プロジェクトの活動や成果の範囲を踏まえると、むしろ少ない状況であった。</p> <p>第1ステージにおいて日本から供与された機材の多くは、現地のニーズに合致したものであり、適切な時期に計画通り CERFIN に納入されている。ただ、一部機材は輸送手続き及び仕様の不一致によって予定通り供与されなかった。</p> <p>ワークショップにおける機材（日本側が供与したものだけではなく）は、より効率的な訓練を実施するために、日本人専門家とC/Pが協力して再配置した。</p>
	投入の活用度合	投入と成果との関係	<p>投入は、きちんと成果に変換されている。大部分の供与機材は、良好な状態で維持管理されており、使用可能な状況である。</p>
	プロジェクト支援体制	支援の質、量及び時期	<p>合同調整委員会は、プロジェクトの進捗及び達成状況をモニタリングするために、年1回開催されている。また、プロジェクトの円滑な実施を図るため、運営管理委員会が月1回、実施委員会が月2回開催されている。</p>
	他の日本の協力事業とのリンケージ		<p>3名の青年海外協力隊員（JOCV）が SECAP のクエンカ工業訓練センター（CECIC）に配属されている。その分野は、パソコン、情報及び自動車修理である。JICA は、今までに40名以上のJOCVや個別専門家を SECAP 本部あるいは主要地方センターに派遣しており、両者の協力関係は10年以上に及んでいる。</p>
	関連プロジェクトとの協調（あるいは競合）		<p>スイスの援助機関である SWISSCONTACT は、職業訓練プロジェクト（特に縫製等の分野）を実施していたが、2003年末に、当初計画に従ってそのプロジェクトを完了した。なお、国立工科大学やサレシアナ大学のようなエクアドル国内の高等教育機関も、職業訓練を提供している。</p>

評価項目	評価内容	必要な情報・指標	調査結果
インパクト	上位目標達成状況と見込み		訓練生及び参加企業の数はまだ少ないため、上位目標の達成に向けた実質的なインパクトは確認されていない。
	プロジェクト実施による間接的・波及的効果		本プロジェクトの実施は、日本人専門家が直接関与している分野の指導員だけでなく、直接関与していない他の分野の指導員の意識の変化にも大きな影響を与えている。
	日本の協力に対するインパクト・評判		民間企業の間では、本プロジェクトが日本政府の協力によるものであることがまだ十分に認知されていない。
自立発展性	制度的な自立発展性	管理・運営能力、C/P等の配置	SECAPは運営管理面で組織の強化を図っている。労働人的資源省は、CERTINをエクアドルの拠点的な職業訓練センターと位置づけており、政府からの制度的な支援は引き続き確保されるものと考えられる。
	財務的な自立発展性	予算の確保とその健全性	①エクアドル社会保険庁 (IEES) を通して分配される訓練資金 (訓練税)、②受講生から徴収する訓練費、③国家予算の配賦により、SECAPは財政的に自立発展性が高いと考えられる。
		自己収入の状況	訓練費からの収入は、自己収入として SECAP 自身が主体的に管理できるため、重要である。今後、SECAP による様々な取り組みを通じて、訓練費からの収入は増加する見込みである。
	技術的な自立発展性	C/Pの技術レベル	技術移転はこれまで成功裏に実施されている。C/Pの基礎能力及び潜在力(素質)は全体的に高い。日本人専門家による機材(他国援助機関から供与されたものも含む)の修理を通じて、C/P/指導員は、修繕技術の能力を高めている。 C/Pへの質問票によれば、訓練コースの改善や機材管理、新規訓練コースの開発のような課題については、まだ自信を持って取り組みないと答える者もおり、今後も、日本人専門家による技術移転を通じた能力向上が必要である。

7. SECAP 管理職員数・指導員数他

SECAP 管理職員・指導員数
(地域別)

作成日: 15/10/2003

	2001年12月			2002年12月			2003年9月		
	管理職員	指導員	計	管理職員	指導員	計	管理職員	指導員	計
SECAP全職員	207	195	402	190	180	370	186	112	298
SECAP本部	57	8	65	51	8	59	44	0	44
SECAP北部地域	55	76	131	50	71	121	57	53	110
SECAP中部支局	28	24	52	27	22	49	24	15	39
SECAP臨海支局	44	69	113	41	63	104	40	35	75
SECAP南部支局*	23	18	41	21	16	37	21	9	30

注: 管理職員に幹部職員を含む。

SECAP技術分野別インストラクター数
(機械金属・電気電子系分野)

作成日: 15/10/2003

	2001年12月			2002年12月			2003年9月		
	管理職員	指導員	計	管理職員	指導員	計	管理職員	指導員	計
CERFIN									
・機械金属系分野	2	13	15	2	11	13		11	11
・電気電子系分野	1	8	9	1	8	9		7	7
CEFIA									
・機械金属系分野	2	8	10	1	5	6		4	4
・電気電子系分野	1	1	2	1		1		1	1
CERFIL									
・機械金属系分野	1	12	13	1	12	13		7	7
・電気電子系分野	1	6	7	1	5	6		4	4
CEFIC									
・機械金属系分野	2	2	4	1	2	3		3	3
・電気電子系分野	1	1	2	1	2	3		1	1

注: インストラクター数に科長も含む。 CERFIN:北部地域職業訓練センター CEFIA:アムバト工業訓練センター
CERFIL:臨海地域工業訓練センター CEFIC:クエンカ工業訓練センター

単位:米ドル

作成日: 15/10/2003 8. SECAP 年間予算

予 算	予 算 科 目	執 行 予 算		計 画 予 算		備 考
		2001	2002	2003	2004	
歳 入	自前収益	620,000	1,736,716	1,829,911	1,882,839	訓練コース等による収入
	公務員・公社職員等の職業訓練税	2,059,484	2,513,864	2,806,789	3,350,913	公務員・公社職員の給与に対する0.5%
	国家予算	0	234,840	0	0	政府予算の一部
	児童福祉基金 (FONNIN)	335,938	363,505	136,717	136,718	児童福祉基金の一部譲渡
	合 計	3,015,422	4,848,925	4,773,417	5,370,470	
			1,724,594	2,560,680	1,791,742	2,470,509
歳 出	人件費	67,105	86,323	86,937	96,712	
	出張旅費	108,500	323,876	570,240	512,018	
	外部指導員謝金	328,987	362,485	410,246	478,404	
	公共サービス	335,938	319,657	446,303	556,555	
	整備、掃除、広報費等	44,740	41,200	88,000	94,000	
	他機関への助成金等	286,739	376,466	433,462	367,404	
	消耗品費	12,340	55,328	59,270	102,077	
	情報関連機器消耗品費	87,285	232,982	611,869	465,220	
	維持管理費	15,000	419,129	178,771	142,041	
	資本財費	4,194	70,799	96,579	85,530	
	その他	3,015,422	4,848,925	4,773,419	5,370,470	
	合 計					

9. C/P(指導員)配置状況

作成日: 30/09/2003

技術分野 C/P氏名	専門技術	協力年度					研修
		2002	2003	2004	2005	2006	
1. 機械金属系分野							
1) GONZALO BEDOYA	科長	7/01					
2) JORGE AGUIRRE	機械加工	7/01					
3) LUIS GARCIA	機械仕上げ	7/01					
4) GABRIEL LOPEZ	機械加工	7/01					
5) CARLOS NUÑEZ	溶接技術	7/01					2002年度
6) NELSON PACAS	溶接技術	7/01					2002年度
7) SEGUNDO PAEZ	機械仕上げ	7/01					
8) ANGEL PILLAJO	金属加工	7/01					
9) JUAN SALINAS	金属加工	7/01					
10) LENIN VALENCIA	機械加工	7/01					
11) JORGE MORALES	溶接技術	7/01					
2. 電気電子系分野							
1) VIZUETE WIGBERTO	科長	7/01					2003年度
2) MANUEL GUAÑUNA	電気設備	7/01					
3) PATRICIO DUQUE	油圧・空圧	1/01					
4) LUIS PAZMIÑO	ラジオ・テレビ	7/01					
5) RENE EGAS	工業電子	7/01					
6) JOSE ZAPATA	電子機器	7/01					2003年度
7) FERNANDO CUENCA	冷凍空調	7/01					2003年度
8) CARLOS CUELLER	ラジオ・テレビ	7/01	8/15				

2003年

コース番号	訓練コース名	実施期間		訓練日程		担当指導員	参加者数				参加者就労		参加企業数	訓練時間
		開始日	終了日	曜日	訓練時間		定員	応募	受講	修了	在職	離職		
MCA1	すぐば歯車の製作	2003/2/25	2003/3/14	月一金	14:00-21:00	G.LOPEZ	15	11	10	9	10	10	84	
MCA2	アーク溶接3	2003/1/13	2003/2/14	月一金	18:00-21:00	J.MORALES	15	15	15	14	15	12	100	
MCA3	機械保全	2003/3/10	2003/3/14	月一金	14:00-17:00	J.MORALES	18	8	8	8	8	8	15	
MCA4	アーク溶接2	2003/3/10	2003/4/16	月一金	18:00-21:00	J.MORALES	15	12	12	6	12	8	100	
MCA5	油圧技術	2003/4/1	2003/5/6	月一金	14:00-17:00	Jorge Morales	12	11	11	9	11	10	80	
MCA6	アーク溶接3	2003/4/21	2003/5/26	月一金	18:00-21:00	Jorge Morales	15	18	13	13	13	13	100	
MCA7	アーク溶接3	2003/6/2	2003/7/4	月一金	18:00-21:00	Jorge Morales	15	13	13	12	13	13	100	
MCA8	アーク溶接3	2003/7/14	2003/8/15	月一金	18:00-21:00	JORGE MORALES	15	17	17	10	17	17	100	
MCA9	アーク溶接3	2003/9/22	2003/10/23	月一金	18:00-21:00	JORGE MORALES	15	18	18	18	18	18	100	
MCA10	機械要素	2003/7/21	2003/8/1	月一金	13:00-15:30	LUIS GARCIA	20	20	20	20	20	1	40	
MCA11	縫製織機機械	2003/8/4	2003/8/8	月一金	13:00-15:30	LUIS GARCIA	20	20	20	20	20	1	20	
MCA12	安全管理	2003/8/11	2003/8/15	月一金	13:00-15:30	LUIS GARCIA	20	20	20	20	20	1	20	
MCA13	軸受潤滑油	2003/8/4	2003/8/20	月一金	13:00-15:30	LUIS GARCIA	5	5	5	5	5	1	52	
MCA14														
MCA15														
MCA16														

2003年

電気・電子系

コース番号	訓練コース名	実施期間		訓練日程		担当指導員	参加者数				参加者就労		参加企業数	訓練時間
		開始日	終了日	曜日	訓練時間		定員	応募	受講	修了	在職	離職		
ECA1	電気の基礎	2003/1/7	2003/1/31	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	16	16	16	14	0	0	1	76
ECA2	メカトロニクス制御 I	2003/2/4	2003/2/28	月-金	7:00-10:00	René Egas	16	14	14	13	0	0	1	80
ECA3	電気図面の読み方・描き方	2003/1/13	2003/2/14	月-金	7:00-10:00	Manuel Guañuna	16	7	7	7	0	0	4	90
ECA4	産業電気	2003/1/13	2003/1/17	月-金	18:00-21:00	René Egas	14	8	8	8	0	0	7	20
ECA5	電子基礎	2003/1/20	2003/1/25	月-金	18:00-21:00	Luis Pazmiño	14	14	10	10	0	0	10	28
ECA6	産業電子	2003/1/27	2003/2/3	月-金	18:00-21:00	René Egas	14	14	14	10	0	0	7	28
ECA7	デジタル電子	2003/2/5	2003/2/11	月-金	17:00-20:00	Luis Pazmiño	14	12	12	12	0	0	12	20
ECA8	インバーター	2003/2/12	2003/2/18	月-金	18:00-21:00	José Zapata	13	13	13	13	0	0	7	20
ECA9	CDの修理	2003/2/13	2003/3/13	月-金	18:00-21:00	Luis Pazmiño	15	15	13	13	0	0	13	60
ECA10	自動扉の設置	2003/2/17	2003/3/14	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	8	8	8	8	0	0	8	72
ECA11	電気の基礎	2003/3/17	2003/4/11	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	26	24	24	24	0	0	18	80
ECA12	電子基礎	2003/3/18	2003/4/16	月-金	7:00-10:00	Luis Pazmiño	17	17	17	17	0	0	10	84
ECA13	PLC I	2003/3/24	2003/4/16	月-金	18:00-21:00	José Zapata	7	7	7	7	0	0	7	68
ECA14	家庭配線基礎	2003/4/14	2003/5/30	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	26	23	23	23	0	0	11	120
ECA15	デジタルTV	2003/4/25	2003/5/23	月-金	18:00-21:00	Luis Pazmiño	13	13	13	13	0	0	13	92
ECA16	電気の基礎	2003/6/2	2003/6/27	月-金	7:00-10:00	Manuel Guañuna	26	26	25	25	0	0	13	80
ECA17	家庭用冷蔵庫修理技術の基礎	2003/6/9	2003/6/13	月-金	9:00-12:00	Fernando Cuenca	26	8	8	8	0	0	8	20
ECA18	家庭用冷蔵庫修理技術の基礎	2003/6/30	2003/7/4	月-金	18:00-21:00	Fernando Cuenca	6	6	5	5	0	0	4	20

コース番号	訓練コース名	実施期間		訓練日程		担当指導員	参加者数				参加者就労		参加企業数	訓練時間
		開始日	終了日	曜日	訓練時間		定員	応募	受講	修了	在職	離職		
ECA19	電気の基礎	2003/7/1	2003/7/25	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	20	31	27	27	23	4	18	76
ECA20	PLC II	2003/7/7	2003/7/11	月-金	18:00-21:00	José Zapata	11	7	7	7	7	0	3	20
ECA21	PLC III	2003/7/14	2003/7/25	月-金	18:00-21:00	José Zapata	11	4	4	4	4	0	3	40
ECA22	家屋配線基礎	2003/8/5	2003/9/5	月-金	18:00-21:00	Manuel Guañuna	26	14	14	14	14	0	7	84
ECA23	モータのコイル巻き	2003/8/8	2003/8/15	月-金	18:00-21:00	Fernando Cuenca	12	13	13	13	13	0	7	40
ECA24	冷凍機用溶接技術	2003/8/18	2003/8/22	月-金	18:00-21:00	Fernando Cuenca	7	7	7	7	7	0	7	20
ECA25	家庭用冷蔵庫修理技術の基礎	2003/8/25	2003/8/29	月-金	13:00-16:00	Fernando Cuenca	26	22	22	22	22	0	10	20
ECA26	白色蛍光灯の設置	2003/9/8	2003/10/3	月-金	18:00-21:00	Fernando Cuenca	20	20	20	20	20	0	1	80
ECA27	PLC基礎	2003/9/15	2003/9/26	月-金	18:00-21:00	José Zapata	11	11	11	11	11	0	7	40
ECA28	PLC II	2003/9/30	2003/10/10	月-金	18:00-21:00	José Zapata	11	11	11	11	11	0	7	20

12. 指導員の再訓練計画（案）

年度別コース計画表

	エクアドル年度			
	2004	2005	2006	2007
コース実施回数	2	4	6	7
1) 機械金属系	1	2	3	3
2) 電気電子系	1	2	3	4
コース期間	1ヶ月/コース	1ヶ月/コース	1ヶ月/コース	1ヶ月/コース
コース実施時期	6～8月	6～8月	6～8月	6～8月
参加指導員数	6	12	18	21

（備考）

- 1) SECAP 本部が責任を持って、主要職業訓練センター（CERFIL、CEFIA、CEPIC）より当該担当分野の指導員を各分野最低3名募集し CERFIN で訓練を実施する。
- 2) 再訓練に要する旅費、訓練経費等は SECAP 本部が予め予算計上する。
- 3) 2007 年度以降は SECAP 独自でコースを企画する。

2004 年度訓練計画表

技術分野	第1週	第2週	第3週	第4週
電気電子系	指導技法	電気電子 U1	電気電子 U3	電気電子 U5
	教材作成技法	電気電子 U2	電気電子 U4	電気電子 U6
機械金属系	指導技法	機械金属 U1	機械金属 U3	機械金属 U5
	教材作成技法	機械金属 U2	機械金属 U4	機械金属 U6

（備考）

- 1) コース概要の情報（日程、担当者、訓練内容等）については、SECAP 本部が CERFIN 及び日本側と協議したうえ、コース開始の2ヶ月前に各センター宛文書にて通知する。
- 2) 電気電子、機械金属分野の U1～U6 は訓練体系のユニットを示し、1ユニットは25 訓練時間とする。
- 3) 専門分野に入る前の第1週は共通必須研修とする。

14. アンケート調査集計結果

① C/Pアンケート調査結果

1 各職務分野に示されている内容の達成度をチェックし、当てはまる欄にXを記入して下さい。
 Verificar los ítems indicados en cada proceso de trabajo y marcar con X la columna correspondiente

職務分野 PROCESO DE TRABAJO	項目 ITEM	No.	内容 CONTENIDO	達成度 / RESULTADOS ALCANZADOS						備考 備考
				大変良来る EXCELENTE	良く出来る BUENA	少し出来る REGULAR	出来ない MALO	計 TOTAL		
訓練企画 PLANIFICACION DE CURSOS	年間訓練実施計画 PLAN ANUAL DE CURSOS	1	年間訓練計画 ELABORACION DE PLAN ANUAL DE CURSOS				1	1	教師課と各専長が担当	
	年間コース内容計画 CONTENIDOS DE CURSOS	2	コースカリキュラム ELABORACION DE CURRICULOS		10	1	1	16		
	機材・教材計画 PLAN DE PREPARACION DE MATERIALES DIDACTICOS	3	機材・教材リスト ELABORACION DE LISTAS DE MAQUINARIAS Y MATERIALES DIDACTICOS		3	7	5	1	16	
広報・応募・受付 PUBLICACION Y INSCRIPCION	広報 MARKETING	4	広報物作成 PREPARACION DE MATERIALES DE PUBLICACION		2		1	3	広報委員会と広報担当が担当	
	訓練実施準備 PREPARACION PREVIA	5	機材・教材の準備 ELABORACION DE MATERIALES DIDACTICOS		8	2		16		
訓練実施・管理 EJECUCION Y ADMINISTRACION DE CURSOS	訓練実施 EJECUCION DE CURSOS	6	選考試験 PRUEBA DE ADMISION		1	4	1	6	主に教務課と各専長が担当	
		7	選考面接 ENTREVISTA				1	2	各専長が担当	
		8	受講生オリエンテーション ORIENTACION A LOS PARTICIPANTES				1	2	各専長が担当	
		9	計画・実施 EJECUCION DE CURSOS	1	13	1		16		
		10	PROTS活用 UTILIZACION DE PROTS			3	5	16		
		11	受講中退管理 CONTROL DE AUSENCIA DE PARTICIPANTES	2	11	2	1	16		
		12	受講生評価表 ELABORACION DE FORMULARIO DE EVALUACION DE PARTICIPANTES		2	7	7	16		
	訓練実績報告 INFORME DE CURSOS	13	受講生評価表 ELABORACION DE CUADRO DE EVALUACION DE PARTICIPANTES		6	7	3		16	週毎報告書は作成していない
		14	週毎コース実施報告 ELABORACION DE INFORME SEMANAL DE CURSOS			2	8		10	
		15	コース終了報告書作成 ELABORACION DE INFORME FINAL DE CURSOS	2	10	1	1	16		

訓練評価・改善 EVALUACION Y MEJORAMIENTO DE CURSOS	訓練進捗管理 SUPERVISION DE CURSOS	16	訓練進捗管理 SUPERVISION DE DESARROLLO DE CURSOS	1	2	2	1	6	主に各科長が担 当	
	評価システム SISTEMA DE EVALUACION	17	コース実施状況分析 ANALISIS DE EJECUCION DE CURSOS		2	1	3	8		
訓練評価・改善 EVALUACION Y MEJORAMIENTO DE CURSOS	訓練改善 MEJORAMIENTO DE CURSOS	18	コース評価 EVALUACION DE CURSOS		1	4	3	9	主に各科長が担 当	
	訓練改善 MEJORAMIENTO DE CURSOS	19	コース終了時アンケート調査 ENCUESTAS AL FINAL DEL CURSO		3	4	8	16		
	機材管理 ADMINISTRACION DE MAQUINARIAS	20	機材管理台帳 ELABORACION DE INVENTARIO DE MAQUINARIAS		7	2	2	16		
	機材管理 ADMINISTRACION DE MATERIALES DIDACTICOS	21	教材保管・管理 ADMINISTRACION DE MATERIALES DIDACTICOS		1	9	2	16		
	消耗品管理 ADMINIS. MATERIALES CONSUMIBLES	22	消耗品在庫目録 ELABORACION DE LIBRO DE REGISTRO DE ARTICULOS DE CONSUMO				8	15		
	コース開発計画 PLANIFICACION DE CURSOS	23	コース目的設定 DETERMINACION DE META DE CURSOS		1	6	1	9		
	開発調査 ESTUDIO PARA EL DESARROLLO	24	企業等の訪問 VISITA A LAS EMPRESAS		6	2	1	12		
		25	アンケート調査 ESTUDIO DE NECESIDADES		7	2	1	13		
	新規コース開発 DESARROLLO DE NUEVOS CURSOS	26	参考資料作成 ELABORAC. DE MATER. DE REFERENCIA		1	6	1	2		10
		27	コース計画 PLANIFICACION DE CURSOS		1	7	3	5		16
		28	テキスト様式の改定 REVISION DE FORMATO DE MANUALES		4	9	1	2		16
29		教材・テキスト開発 DESARROLLO DE MATERIALES DIDACTICOS		5	7	3	1	16		
30		担当指導員コース展開計画 DISTRIBUC. DE INSTRUCTORES POR CURSOS					2	2		
31	新規コース開発評価 EVALUACION DE NUEVOS CURSOS		新規コース評価 EVALUACION DE NUEVOS CURSOS		1	5	1	7		

注) アンケート調査対象者は、機械・金属科指導員 10 名および電気・電子科指導員 6 名、合計 16 名。各科長は含まれていない。

2 Stage I 終了にむけての課題・問題点および Stage II にむけての抱負

ASUNTOS PENDIENTES Y PROBLEMAS PARA LA TERMINACION DE LA PRIMERA ETAPA Y SUGERENCIAS PARA LA REALIZACION DE SEGUNDA ETAPA.

(以下は自由に記述された内容であるが、共通の課題・問題点等は取り纏めて整理した。)

電気・電子科カウンタパート (指導員)		5	第2ステージにおいても第1ステージと同様の協力を期待する。	1
指導員の数が不足していて負担が重かった。 実習室の改善が懸案となっている。		1		
機械・金属科カウンタパート (指導員)		1	機材 (溶接機材) の調達が遅れた。	3
グループ活動がされていない。 専門家が指導員とより一層関係を保つことを期待する。		1	プロジェクトが実施する訓練コースを受講していない。 専門家と指導員は協力して活動しているが、管理責任者が把握していない。	2
訓練コースに全指導員を参加させて頂きたい。		2		1
配置替えした機材の掘付を早急に行う必要がある。		1	機材の維持管理費を確保する必要がある。	1
専門家は、テクニコ、テクノゴコースだけでなく、少年・成人向けの養成訓練にも協力して頂きたい。		1	実習場の整備に対して CERFIN の協力が十分でなかった。	1
全指導員が外国の研修を受ける機会を与えて欲しい。		1	特定の専門分野の技術移転に問題があった。	1
新規機材が導入されていない。		1	JICA の協力が全実習場に平等に実施されることを期待する。	1
技術移転が不足している。		1	消耗品の供与を期待する。	1
溶接機材の交換を要望する。		1		

3. JICA 専門家、SECAP、所属する職業訓練センターへの要望、コメント等を自由にご記入ください。

INDIQUE CUALQUIER SUGERENCIAS O COMENTARIOS QUE QUIERA FORMULAR A LOS EXPERTOS JAPONESES, SECAP NACIONAL O CERFIN.

(以下は自由に記述された内容であるが、共通の要望・コメント等は取り纏めて整理した。)

電気・電子科カウンターパート (指導員)

専門家の知識が豊富であるため協力がうまくいっている。	2	SECAP 本部は、日本人専門家の活動を、一層支援すべきである。	2
工業電気の短期専門家を派遣してほしい。	1	SECAP の指導員に対するインセンティブが不足している。	1
教材作成のための支援が必要である。	1	インターネットを導入してほしい。	1
情報分野の短期専門家を派遣してほしい。	1	専門家が指導員とが、一層調整しながら活動することを期待する。	1

機械・金属科カウンターパート (指導員)

専門家が他の実習場と同様の協力をすることを期待する。	1	SECAP が指導員の待遇改善を考えてほしい。	1
専門家の協力に感謝する。	1	コースに必要な資機材を提供してほしい。	1
より一層情報の提供をしてほしい。	1	センターのイメージアップを図る必要がある。	1
科で行う会議に全指導員が参加してほしい。	1	SECAP の活動について広報活動を行う必要がある。	1
センターの人材を活かしてほしい。	1	専門家に技術セミナーを実施することを願う。	1
専門家と指導員の関係強化を図る必要がある。	1	機械科のリーダーシップを発揮してほしい。	1
機材の維持管理	1		

② 向上訓練受講者アンケート調査結果

調査対象受講者数 44名

1.2御社の分類はどれにあたりますか？ 1.2 Identifique el sector donde se ubica su empresa	a.製造業 a. Industrial	30
	b.情報・運送業 b. Comunicaciones o transporte	2
	c.建設業 c. Construcción	0
	d.サービス業 d. Servicios	12
	e.その他 e. Otros	0
2.2向上訓練コース受講の目的は何ですか？(複数選択可) 2.2 Indique los motivos para participar en el curso	a.技術、技能を身に付け自己能力の幅を広げたいから a. Para obtener conocimientos técnicos y habilidades	32
	b.仕事上必要としている技術だから b. Por requerimiento en el Trabajo	6
	c.転職を希望しているから c. Para tener mejor oportunidad de trabajo	13
	d.資格(含む修了証明書)をとりたから d. Para obtener el certificado de curso	4
	e.会社の指示に応えたいから e. Por instrucción de la empresa	3
	f.その他 f. Otro	2
2.3向上訓練コースはあなたにとって役に立ちましたか？ 2.3 Como califica usted el curso en el que Ud. ha participado	a.大変役に立った(点数表示80~100) a. Excelente (80 a 100 puntos)	19
	b.役に立った(60~79) b. Buena (60 a 79 puntos)	19
	c.普通(40~59) c. Regular (40 a 59 puntos)	1
	d.役に立たない(20~39) d. Malo (20 a 39 puntos)	1
	e.全く役に立たない(0~19) e. Muy malo (0 a 19 puntos)	0
2.4役立ったもののうち以下の例に合致するものがあれば選んでください。(複数選択可) 2.4 Indique los cambios que usted ha tenido en su trabajo después de participar en el curso	a.不良品(含む返品)が少なくなった a. Disminución de defectos y devolución de productos	11
	b.製品がきれいに仕上がるようになった b. Mejoramiento de terminación de productos	16
	c.納品までの期間短縮ができた c. Disminución de tiempo de producción y entrega de	11
	d.仕事の幅が広がった d. Diversificación de la producción	2
	e.業務の一部を外部企業(外国企業を含む)へ委託していたが自社内で出来るようになった e. Producción interna de los productos que anteriormente suministraban otras empresas (incluyendo extranjeras)	4
	f.作業の無駄が省けたラインの改良が自社内で出来るようになった f. Reducción de desperdicio y mejora de líneas de producción que se realizaron internamente	9
	g.製品が改良され使いやすくなった g. Innovación de productos	1
	h.機器の故障が減った h. Reducción de daños en las maquinarias	14
	i.整理整頓が出来るようになった i. Mejoramiento en el ordenamiento de las herramientas	9
	j.作業中の怪我が減った j. Reducción de accidentes laborales	8
	k.新しい知識や技術の習得により作業に自信がもてるようになった k. Adquisición de nuevos conocimientos y habilidades que aumentaron la confianza en el trabajo	20
	l.収益が増加したことから給与がアップされた l. Mayor remuneración por mejoramiento de productividad	10
	m.チームワーク作業がスムーズになった m. Mejoramiento de trabajo en equipo	12
	n.客からの注文が増えた n. Incremento de pedidos de los clientes	3

2.5 2.3でe.に回答した人のみ答えてください。役立つなかった理由は何だったと思われるですか？ 2.5 Los participantes que respondieron el punto e. del ítem 2.3 favor indicar las razones por la cual considera muy malo	a.レベルが自分に合わなかった a.El nivel técnico no ha sido lo esperado	1
	a.実技が足りなかった a.Falta de prácticas	0
	b.機械が十分にありません b. Insuficiente número de maquinarias y equipos para las	0
	c.時間が短すぎた c.El curso tiene corto tiempo de duración	1
	d.夜間のコースがなく、日中のコースが必要だった d.Se requiere cursos diurnos a más de cursos nocturnos	0
e.その他 e.Otros	0	
2.6 今後も受講を希望しますか？ 2.6 Indique si tiene interés en participar en los futuros cursos	a. 希望します a. Si	38
	b. 希望しません b. No	0
	c. まだわかりません c. Aún no sabe	2
2.7 2.6で今後も受講を希望すると答えた人のみ回答してください。電気・電子科コースと機械・金属科コースのどちらの受講を希望しますか？ 2.7 Los participantes que respondieron el punto a. del ítem 2.6 favor indicar el área técnica de su interés	a. 電気・電子科 a. Electricidad y Electrónica	19
	b. 機械・金属科 b. Metalmeccánica	23
2.8 新規に開講を希望するコースがありますか？ ありましたら分野およびコース名を記入ください。 2.8 Identifique el nombre del curso y el área técnica en la cual desea participar (Si existe)	a. ある a. Si	18
	b. ない b. No	20
3.1 募集に係る広報から修了証書発行まで事務部の対応はいかがでしたか？ 3.1 Como califica usted el servicio de las dependencias administrativas del CERFIN (desde la inscripción hasta el otorgamiento de certificados)	a. 大変良い(点数表示80~100) a. Excelente (80 a 100 puntos)	17
	b. 良い(60~79) b. Buena (60 a 79 puntos)	18
	c. 普通(40~59) c. Regular (40 a 59 puntos)	3
	d. 悪い(20~39) d. Malo (20 a 39 puntos)	1
	e. 大変悪い(0~19) e. Muy malo (0 a 19 puntos)	1
3.2 どのようにして受講コースの存在を知りましたか？ 3.2 Indicar los medios por los cuales Ud. conoció la existencia del curso	a. パンフレット a. Trípticos	1
	b. 職業訓練センターなどの掲示板 b. Avisos de las carteleras del Centro	6
	c. 他者からの口伝え c. Información recibida a través de otras personas	21
	d. 企業からの指示 d. A través de la empresa en donde trabaja	9
	e. その他 e. Otro	5

③ 派遣元企業アンケート調査結果

		調査対象企業数	22社
1.2 御社の分類はどれにあたりますか？ 1.2 Identifique el área o sector donde se ubica su empresa	a. 製造業 a. Industrial		15
	b. 情報・運送業 b. Comunicaciones o transporte		1
	c. 建設業 c. Construcción		0
	d. サービス業 d. Servicios		6
	e. その他 e. Otros		0
1.3 御社の従業員数は下記のどれに該当しますか？ 1.3 Indique cuántas personas trabajan actualmente en su empresa?.	a. 1-9 人 a. De 1 a 9		6
	b. 10-49 人 b. De 10 a 49		7
	c. 50-99 人 c. De 50 a 99		2
	d. 100人以上 d. Más de 100		7
2.1 向上訓練受講の目的は下記のどれに該当すると思いますか？（一つだけ選んでください） 2.1 Indique el motivo para la capacitación de su personal (Marque solamente un item)	a. 新入社員教育 a. Capacitación de empleados nuevos		8
	b. 従業員の能力開発による生産性の向上 b. Mejoramiento de productividad a través del desarrollo de habilidades del personal		14
	c. 社内配置転換 c. Transferencia de personal a otras áreas		0
	d. 新規事業進出 d. Diversificación de las actividades de la empresa		2
	e. その他 e. Otro		0
2.2 従業員が向上訓練を受講することにより、御社ではどの職務の改善に最も期待しますか？（一つだけ選んでください） 2.2 ¿Que espera mejorar en su empresa con la capacitación de su personal? (Marque solamente un item).	a. 品質管理 a. Control de Calidad		4
	b. 工程管理 b. Control de proceso de fabricación		8
	c. 原価管理 c. Control de costos		1
	d. 安全管理 d. Mantenimiento y mejoramiento de maquinarias		4
	e. 安全管理 e. Control de la seguridad Industrial		0
	f. モラルアップ f. Mejoramiento de actitud hacia el trabajo		7
	g. その他 g. Otro		1
2.3 従業員が向上訓練を受講したことにより、御社ではどの職務の改善に最も具体的効果が表れましたか？（一つだけ選んでください） 2.3 Indique el resultado concreto obtenido con la capacitación de su personal (Marque solamente un item).	a. 品質管理 a. Control de Calidad		5
	b. 工程管理 b. Control de proceso de fabricación		7
	c. 原価管理 c. Control de costos		0
	d. 安全管理 d. Mantenimiento y mejoramiento de maquinarias		5
	e. 安全管理 e. Control de la seguridad industrial		0
	f. モラルアップ f. Mejoramiento de actitud hacia el trabajo		4
	g. その他 g. Otro		2

<p>2.4 その効果として以下の例に合致するものがあれば選んでください。(複数選択可)</p> <p>2.4 Indique detalladamente el resultado obtenido con la capacitación de su personal (Puede marcar más de 2 ítem)</p> <p>* 品質管理関連 CONTROL DE CALIDAD</p>	a.不良品(含む返品)が少なくなった a.Reducción de productos defectuosos	6
	b.製品がきれいに仕上がるようになった b.Buena terminación de productos	9
	c.受注業務・製品への苦情が減った c.Disminución de quejas y reclamos sobre productos entregados	10
	d.技術・技能が高まり顧客からの信頼が高まった d.Mayor confiabilidad de los clientes por mejoramiento de técnica y habilidad de producción	7
	e.製品が改良され使いやすくなった e.Mejoramiento de los productos por la utilización de mejor tecnología	5
	f.顧客の高レベルの要望にも応えられるようになった f.Mejor respuesta a los requerimientos de los clientes.	7
	<p>* 工程管理関連 CONTROL DE LOS PROCESOS DE PRODUCCION</p>	a.納品までの期間短縮ができた a.Disminución del plazo de entrega de los productos
b.仕事の幅が広がった b.Diversificación de la producción		4
c.業務の一部を外部企業(外国企業を含む)へ委託していたが自社内で出来るようになった c.Producción interna de los productos que anteriormente suministraban otras empresa (incluyendo empresas extranjeras)		2
d.作業時間が短縮できた d.Reducción de pérdidas de tiempo o demoras en la producción		10
e.作業への新技術の導入ができた e.Introducción de nuevas tecnologías en la producción		6
f.ラインの改良が自社内で出来るようになった f.Mejoramiento de la línea de producción en forma interna		4
g.治工具(市販されていない、その企業独自の工具)が作成できるようになった g.Capacidad para producir herramientas que no dispone el mercado		1
<p>* 原価管理関連 CONTROL DE COSTOS DE PRODUCCION</p>	a.コストが削減できた a.Reducción de costos de producción	16
<p>* 保安全管理関連 MANTENIMIENTO DE MAQUINARIAS Y EQUIPOS</p>	a.機械の修理が自社内でできるようになった a.Reparación interna de las maquinarias	8
	b.機器の故障が減った b.Reducción de daños y/o aerías de las maquinarias	13
<p>* 安全管理関連 SEGURIDAD INDUSTRIAL</p>	a.整理・整頓ができるようになった a.Mejoramiento en la organización y disponibilidad de maquinarias y herramientas	10
	b.作業中の怪我が減った b.Reducción de accidentes personales	11
<p>* モラルアップ MEJORAMIENTO DE LA ACTITUD HACIA TRABAJO</p>	a.新しい知識や技術の習得により作業に自信を持つようになった a.Mayor seguridad y confianza en el trabajo como consecuencia de los nuevos conocimientos	17
	b.訓練・学習意欲が高まった b.Mayor interés por el entrenamiento y aprendizaje	11

* その他 OTROS	a.新しい分野への進出が出来た(新規事業) a.Diversificación de actividades
	b.新製品の開発ができた b.Desarrollo de nuevos productos
	c.客からの注文が増えた c.Incremento de pedidos
	d.収益が増加したことから給与をアップできた d.Mejoramiento de remuneración por incremento de utilidades
	e.新入社員へのOJTがスムーズに実施できるようになった e.Incremento del número de eventos de capacitación en la Empresa
	f.向上訓練参加者から、非参加者への自主的な技術移転が見られた f.Disposición voluntaria del personal capacitado para entrenar a sus compañeros.
2.5 今後、従業員への向上訓練の受講を勧めたいと思いますか？(一つだけ選んでください) 2.5 ¿En el futuro, recomendaría usted a su personal la participación en los cursos de capacitación?	a.勧めたい a.Sí
	b.勧めない b.No
	c.まだ分からない c.Aún no sabe.
2.6 2.5でaを選んだ人のみ回答ください。向上訓練受講を勧める理由は何ですか？(複数選択可) 2.6 Las personas que respondieron el punto a. del ítem 2.5, favor indicar las razones por las que recomienda participar en los Cursos	a.コース内容が充実しているから a.Por que los contenidos son buenos
	b.夜間の開講で参加させやすいから b.Por la existencia de cursos nocturnos que facilitan el envío de empleados
	c.低料金であるから c.Bajos costos
	d.通うのに便利な場所に位置するから d.La ubicación del centro facilita el traslado del personal
	e.その他 e.Otro
2.7 2.5でb及びcを選んだ人のみ回答ください。勧めたくない、まだ分からない理由は何ですか？(一つだけ選んでください) 2.7 Las personas que respondieron el punto b. y c. del ítem 2.5, favor indicar las razones por la cual no recomienda o aún no sabe (Marcar solamente un punto)	a.訓練内容が当社の業務内容に合わない a.El contenido de los cursos no corresponden a los requerimiento de la empresa
	b.訓練レベルが当社の業務レベルに合わない b.El nivel de los cursos no corresponden al requerimiento de la empresa
	c.開講スケジュールがわからない c.No conoce la programación de los cursos
	d.忙しくて訓練まで手が回らない d.Exceso de trabajos que impiden la participación
	e.従業員に受講の意志がない e.No existe interés por parte del empleado
	f.職業訓練センターが遠すぎる f.El centro de capacitación esta muy alejado de la empresa.
	g.その他 g.Otro

注) 一部の回答で「一つだけ選ぶ」にもかかわらず、回答者が複数の選択肢に回答したため、合計が22を超えるものがある。

